

【nv-g4-001 脚注1：「宗教に関する記事」かどうかの分析方法】

1. 分析対象：国際報道であると判断されたすべての記事

2. 分析方法

記事の見出しに、宗教という概念そのものや特定の宗教を直接的に連想させる言葉が入っている場合、その記事は「宗教に関する記事」と判断する。

(例1)

『「イスラム国で妻に」志願の2少女拘束 オーストリア』(朝日新聞 2015年1月13日)
→「イスラム」という言葉が「イスラム教」という特定の宗教を直接的に連想させるため、宗教に関する記事だと判断できる。

(例2)

『自爆テロか、140人死亡 イエメンのモスク ISが犯行声明』(朝日新聞 2015年3月21日)
→「モスク」(イスラム教の礼拝堂)という言葉が「イスラム教」という特定の宗教を直接的に連想させるため、宗教に関する記事だと判断できる。

(例3)

『地球24時) パレスチナ向け送金、イスラエルが停止へ』(朝日新聞 2015年1月5日)
→パレスチナもイスラエルも単なる都市・国名であるため、宗教という概念そのものや特定の宗教を直接的に連想させるわけではない。人によってはこれらの都市や国に対していわゆる「宗教的」なイメージがあるかもしれないが、それは予備知識の有無の問題である。